

お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド (世界の実物資産中心) 愛称：資産の方舟

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第3期(決算日2022年9月12日)

作成対象期間(2021年9月11日～2022年9月12日)

第3期末(2022年9月12日)	
基準価額	15,098円
純資産総額	17,922百万円
第3期	
騰落率	25.7%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。
- 右記弊社ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド(世界の実物資産中心)」は、このたび第3期の決算を行いました。当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券を通じ、世界の上場投資信託証券(ETF)に投資することで、実質的に世界中の企業の成長性を享受することを目指します。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

お金のデザイン

東京都千代田区紀尾井町1丁目3番

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

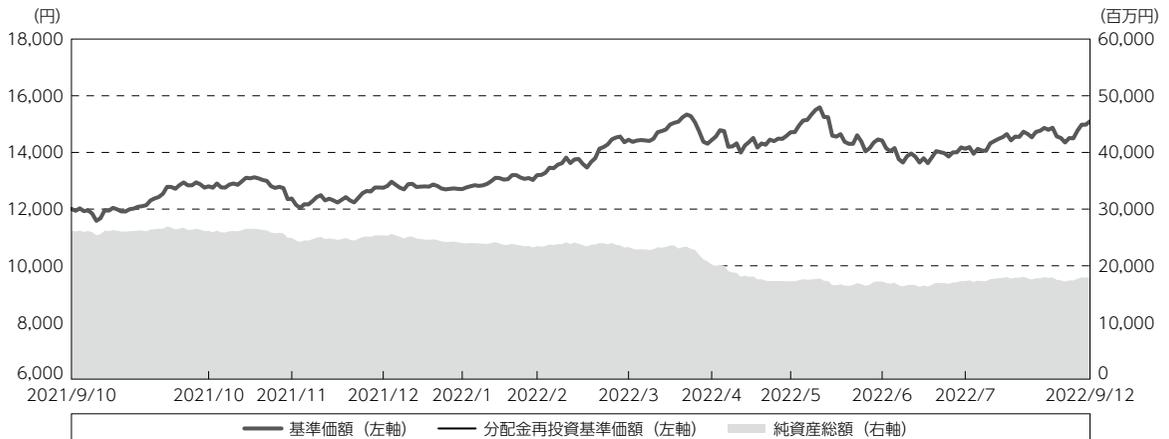
(受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00)

ホームページ：<https://www.money-design.com/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年9月11日～2022年9月12日)



期首：12,008円

期末：15,098円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：25.7%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2021年9月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の変動要因

当ファンドの基準価額は、25.7%上昇しました。

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期は、日本と米国の金利差が拡大したことなどにより、前期末から対円で米ドルが30%程度上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動が基準価額にプラスの影響をもたらしました。エネルギーおよび天然資源関連株式は、金利上昇による景気減速懸念などから軟調に推移する局面もありましたが、通期では米ドルベースで上昇し、基準価額に大きくプラスの寄与となりました。金などの貴金属と世界不動産は米ドルベースでは下落しましたが、為替の効果で円ベースではプラスの寄与となっています。その一方で、日本のREITが若干のマイナス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2021年9月11日～2022年9月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	225	1.659	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(111)	(0.818)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(111)	(0.818)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.035	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(5)	(0.035)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	7	0.049	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(3)	(0.027)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	237	1.744	
期中の平均基準価額は、13,538円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

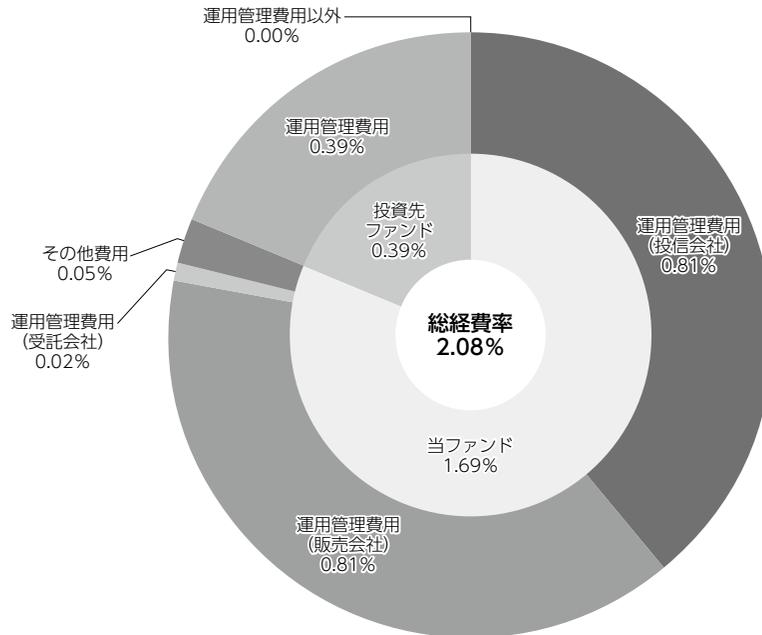
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	2.08
①当ファンドの費用の比率	1.69
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.39
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2017年9月11日～2022年9月12日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2019年12月16日です。

	2019年12月16日 設定日	2020年9月10日 決算日	2021年9月10日 決算日	2022年9月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,459	12,008	15,098
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.6	14.8	25.7
純資産総額 (百万円)	3,590	11,536	26,187	17,922

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年9月10日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

投資環境

（2021年9月11日～2022年9月12日）

世界の現物資産市場は、期初から2022年1月中旬ごろにかけて、インフレ長期化の見通しが強まり欧米の主要中央銀行がそれまでの金融緩和策を縮小する姿勢を明確にするなかで、新型コロナウイルス変異種（オミクロン株）の感染動向などにも注意を払う状況となり、方向感に欠ける展開となりました。その後、ロシアがウクライナに侵攻すると、ロシアへの経済制裁による需給悪化見通しなどから天然資源価格が上昇しました。エネルギー関連株式は、欧米において金融引き締めが加速したことによる世界景気の減速懸念が広がったことや、中国で新型コロナウイルス感染拡大を受けて一部の都市が封鎖（ロックダウン）されたことなどから下落する局面もありましたが、ウクライナでの戦争が予想以上に長期化したことによる原油や天然ガスなどの供給不足を背景に通期では上昇しました。

金などの貴金属は当該戦争が始まった2月後半から3月上旬にかけて上昇しましたが、その後は金利の上昇やドル高などを受けて下落しました。

世界の不動産市場も、金利の上昇と景気減速懸念などから特に期の後半は下落傾向となりました。日本のREIT市場は不安定な推移ながら期を通してみるとほぼ横ばいとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年9月11日～2022年9月12日）

当ファンドは、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムに従って配分を変更しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年9月11日～2022年9月12日)

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

(2021年9月11日～2022年9月12日)

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項 目	第3期
	2021年9月11日～ 2022年9月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,097

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、世界株式急落時の下落抑制効果を最大化する資産配分アルゴリズムを用いて主として世界の实物資産ETFに投資することで、インフレーションから資産を守るだけでなく、長期的な配当も享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

お知らせ

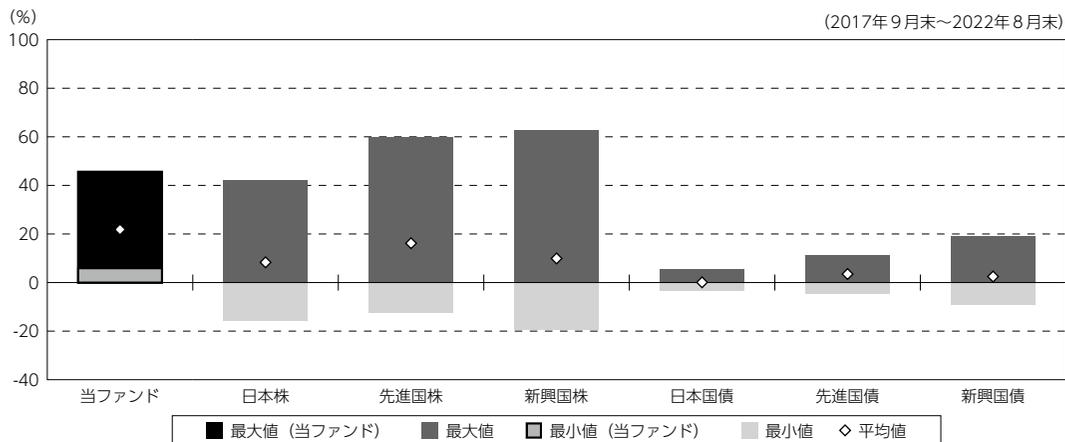
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2019年12月16日）	
運用方針	<p>「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・ファンド（世界の实物資産中心）」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」の運用方針です。</p> <p>①主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。</p> <p>②組入外貨資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p> <p>③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>	
主要投資対象	ベビーフンド	「お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
運用方法	主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。	
分配方針	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	45.6	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	19.3
最小値	5.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.5	△ 4.5	△ 9.4
平均値	21.8	8.3	16.2	9.9	0.1	3.5	2.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年9月から2022年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2020年12月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※詳細は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2022年9月12日現在)

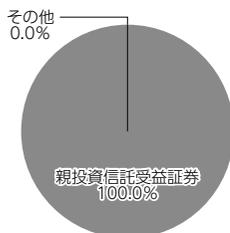
○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

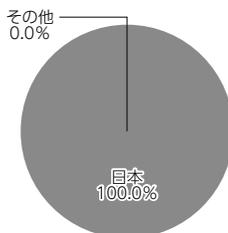
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

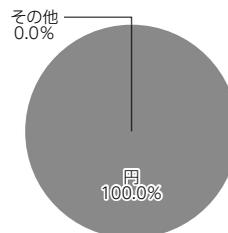
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第3期末
	2022年9月12日
純資産総額	17,922,411,115円
受益権総口数	11,871,037,310口
1万口当たり基準価額	15,098円

(注) 期中における追加設定元本額は8,666,435,733円、同解約元本額は18,603,006,714円です。

組入上位ファンドの概要

お金のデザイン・グローバル・リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年9月11日～2022年9月12日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	5 (5)	0.035 (0.035)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用)	3 (3)	0.019 (0.018)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	8	0.055

期中の平均基準価額は、14,031円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

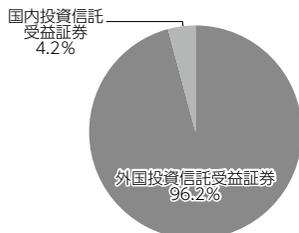
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ABRDN PLATINUM ETF TRUST	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	21.4%
2 ISHARES GLOBAL ENERGY ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	21.0
3 ISHARES GOLD TRUST	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	20.1
4 FLEXSHARES GLOBAL UPSTREAM N	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	14.3
5 SPDR S&P GL NAT RESOURCES	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	7.2
6 ISHARES GLOBAL REIT ETF	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	4.4
7 NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	2.8
8 ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	2.6
9 ISHARES SILVER TRUST	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	2.1
10 FLEXSHARES STOXX GLOBAL BROA	投資信託受益証券	米ドル	アメリカ	1.8
組入銘柄数			12銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

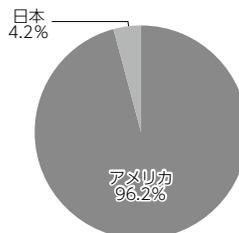
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

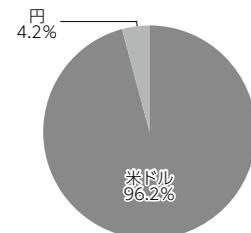
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2022年9月12日現在のものです。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。